

第5章 授業実践

第3章 学習指導案

総合的な学習（情報教育）指導案

日 時 平成17年11月25日(金) 第5教時

児 童 上磯小学校 第5学年1組

男子16名 女子17名

指導者 T1 教諭 佐々木 朗

T2 教諭 附田 勇人

5.3.1 題材 個人情報保護の大切さを考えよう

5.3.2 題材について

本年4月に個人情報保護法案が施行されたように、近年個人情報の保護に対する意識(プライバシーの保護)が急速に高まっている。また、住所、氏名、年齢などの情報の情報が価値を帯び、売買の対象となっている。それらの情報は、デジタル化され、分類・加工され、ダイレクトメール、訪問販売、電話勧誘など、発信者の遠く及ばない人手に渡り、回収不能となっている。

このように個人情報が価値を生むことで、心無い業者はあの手、この手で、個人情報を集めようとしている動きがある。本校においても、運送業者を装い、言葉巧みに子どもたちを騙し、同級生の連絡を聞き出そうとするなどの事件も報告され、決して他人事にはない状況になっている。

一方、私たち一人一人も「自分の情報は自分で守る」ことを基本に、個人情報を外に公開していくことは、よく考えてからしていく意識を持つようにすることが大切である。特に、今急速に発展しつつあるインターネットの社会でも、無料プレゼント、抽選で賞品が当たるアンケートなど、様々な形で個人情報を書き込んでしまうケースがある。これらの行為全ての否定することではないが、とりわけネットからの入力=デジタル情報であるため、葉書や電話と違って、利用されやすい情報だということを肝に銘じておかなければならない。

こと、子どもたちにとっては、「自分の名前や住所を教えない。」という指導は、「人を信じない」ということにもつながりがちであるが、昨今の事故や事件をもとに、「自分の身は自分で守る」ことを指導していきたい。

この題材では、次の教材を用いる。

独立行政法人 情報処理振興機構(IPA)、財団法人コンピュータ教育開発センター(CEC)が実施したEスクエア・プロジェクトで開発された成果として学習用にWEB上に掲載されている「ネット社会の歩き方」の「住所や電話番号を教えるのは慎重に」という教材。

筆者が独自に開発したニセ「小学生プレゼント」のWEBサイト。この教材は、簡単な勉強に関するアンケートに答えると、プリン、ケーキ、カメラ、パソコンのプレゼントが当たるという名目で、子どもの個人情報を引き出そうとしている。データは、筆者へメールで送られる仕組みになっている。

これらの教材を利用しながら、児童に個人情報の保護の大切さについて、指導していく。

5.3.3 渡島視聴覚教育研究会の研究テーマとその設定理由

(1) 渡島視聴覚教育研究会の研究テーマ

視聴覚機器の効果的な活用のあり方を探る

～新しい情報機器の特性を生かした実践を求めて～

(2) 研究テーマ設定の理由

遠い未来、人類の歴史をひもどいた時、「農業革命」、「産業革命」に追隨して、この20世紀後半から21世紀にかけては、「情報革命」と呼ばれる日がやってくるに違いない。テレビ、ラジオを通して、日本の、そして世界の地域で突然起こった事件・事故があったという間にお茶の間に届く時代となっている。

振り返ってみると、1925年に日本で初めてラジオ放送が開始された。また、1953年にはNHKによりテレビの本放送が開始された。これらテレビ・ラジオの普及により、私たちの生活は、かつてなかったほどの情報を居ながらにして入手することができるようになった。さらに、20世紀末のマイクロソフト Windows95 の出現と一つの大きな契機として、コンピュータが企業ばかりではなく一般家庭にも広く普及し始めた。それに追隨する形で、視聴覚機器もデジタルカメラやデジタルビデオカメラも一般ユーザーが手に入れることができる価格になり、手軽に使えるメディアとなった。

一方、当研究会は、紙芝居やOHP、アンサーボックス、ビデオカメラ、教材提示装置など、授業を効果的に進める上で、子どもたちに視覚的、聴覚的に情報を提供する機器の活用方法を柱の一つとして研究してきた。また、学校放送をどのように効果的に授業に取り入れていくかについても、もう一本の柱として、関係団体と連携を取りながら研究を進めてきた。

さて、前述のようにコンピュータを中心とするマルチメディアの情報機器が学校現場にも入ってきている今、それらを中心とする研究に目を向けていくことが求められている。また、学校放送においても、インターネットを介して、テレビとコンピュータが融合するような形で使うことでより高い効果が得られる番組が増えている。

以上の学校を取り巻く視聴覚機器の変化を鑑み、研究主題を「視聴覚機器の効果的な活用のあり方を探る」とし、特に、コンピュータを中心とする新しいメディアの研究及び授業実践にも力を入れていくべく副題として「～新しい情報機器の特性を生かした実践を求めて～」を掲げた。

新しい情報機器については、一部の先生が先進的に研究を進めている一方、機器の操作

方法への不安から、新しいものへの挑戦に二の足を踏んでいる先生も多いのが現状であろう。コンピュータの操作にしても、以前は、キーボードから操作命令を直接入力していたが、現在では、マウスで画面をクリックすることにより操作が開始されるなど、操作性も向上し、特別な技術を習得しなくても、十分に技能を修得できるものとする。したがって、当研究会の今年の柱として、実技講習会を実施し、会員及び広く管内の教職員に新しい視聴覚機器の操作方法や授業での利用形態などを実技講習会として、広く知らせ、視聴覚教育のより一層の発展をめざしていく。

5.3.4 研究テーマと授業との関わり

前述のように、コンピュータが学校現場に導入され、現在積極的に利用されている。今回は「総合的な学習の時間」で情報教育の内容の授業となる。情報教育の目標は、情報活用能力を育成することである。文部科学省では、この情報活用能力として以下の3点を掲げている。

情報の科学的な理解

情報活用の実践力の育成

情報社会に参画する態度

本研究会のテーマ「新しい情報機器の特性を生かした実践」は主に に関わっての活用になろう。児童に積極的にコンピュータを利用させ、自分の持った課題を解決するために、調べ、それをまとめ、また、発信していくという力を育成しようとするものである。一方の裏には、気をつけなければならないところがある。主題設定の理由のところでも述べたように、インターネットを過信して、個人情報を用意に発信することにより、その電子データが発信者の知らないところで売買される結末を仰ぐことも十分にありえる。したがって、子どもたちには、便利なインターネットを積極的に活用（情報社会の光の部分）することを指導すると共に、今回の個人情報の漏洩をはじめ気をつけなければならない部分（情報社会の陰の部分）についても指導をしていかなければならない。

今回の授業は、研究テーマに沿い、情報機器を積極的に利用しながら、情報社会で気をつけなければならない、情報社会に参画する態度の育成を主にしている。

5.3.5 指導目標

個人情報とその保護についての重要性に気づく。

個人情報を守るための具体的な方策について理解する。

自分の個人情報を守るとともに他者の個人情報も尊重し保護する態度を育てる。

5.3.6 指導計画（2時間）

(1)身近なところでの個人情報がねらわれていることを知り、気をつけようとする態度をもつことができる。

(2)インターネットにおける個人情報の書き込みに危険性について知り、気をつけようとする態度をもつことができる。

5.3.7 展開（研究授業は2/2）

(1) 本時の目標（1/2）

身近なところでの個人情報がねらわれていることを知り、気をつけようとする態度をもつことができる。（1/2）

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">個人情報の保護について学習しましょう。</p>	
<p>(1)個人情報とは何か確認する。</p> <p>(2)事前調査の個人情報の聞き出しに関するアンケート結果を知る ・体験例を出す。</p> <p>(3)スキット1を聞く</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">あなたが、真由美さんだったら、名前や電話をお姉さんに教えると思いますか。</p> <p>・「 」、 「×」の札を上げる。 ・教える理由、教えない理由を発表。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氏名、誕生日、住所、電話、親の名前など ・ 調査内容の確認 ・ 話が出なければ、身近な例を教師側から話す。 ・ テープで聞かせる。 ・ 双方の意見を聞く。「教えない」に偏った場合、「親切にしないでいいのかな。」とゆさぶりをかける。
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">最近、家族のことや友達の住所や電話番号を聞き出そうとする嘘の電話も多くなっています。電話番号や住所などを人に教えることは慎重にすることが大切です。</p>	
<p>(4)スキット2を聞く。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">あなたが、美香子さんだったら、名前や電話を警察の人に教えると思いますか。</p> <p>・「 」、 「×」の札を上げる。 ・教える理由、教えない理由を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の生活経験に照らして、本物と思う場合は、情報を伝えるだろうし、怪しい場合は本物かどうかを確かめることが必要と

<p>・怪しいと思った場合はどのようにすればいいだろうか。</p> <p>(5)スキット3を聞く。</p> <div data-bbox="236 517 769 624" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あなたが、文雄君だったら、どのように答えますか。</p> </div> <p>・ワークシートに自分でどのように答えるか記入する。</p>	<p>いう方向性を出す。</p> <p>・怪しい場合は安易に友だちの住所を教えない答え方を指導する。</p>
<div data-bbox="240 790 1302 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あやしい電話を受けた場合は、家の人に代わってもらうとか、親のいる時にかけなおしてもらおう。また、急ぎの時は、相手確かめるなど必要な場合もあります。</p> </div>	
<p>(6)集められた情報について考える。</p> <div data-bbox="236 999 769 1106" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>集められた住所や名前などの情報は、どうなるのでしょうか。</p> </div> <p>・意見を発表する。</p> <p>・ダイレクトメールや、訪問販売などのデータになることを知る。</p> <p>・個人情報保護法が今年の4月より実施され、データが集めにくくなっていることにも触れる</p>	<p>・名簿にする、手紙を出す、セールスに使うなどの意見が予想される</p> <p>・ダイレクトメールの山を見せる。</p>
<div data-bbox="236 1413 1326 1565" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>個人の住所や名前を集めて、手紙を出したり、訪問したりして、商売をしようとする人がいます。また、情報を集める専門の会社もあります。いやな思いをしないよう相手に住所や名前を教える時には十分注意しましょう。</p> </div>	
<p>(8)ワークシートに本時の感想を書く。</p> <p>(9)次時の予告</p>	

(3)評価

- ・ 個人情報がどのようなものかを理解できたか。
- ・ 個人情報を聞き出そうとする怪しい電話や訪問に対しての適切な対応方法がわかったか。
- ・ 流出した個人情報がどのように扱われるかがわかったか。

(1) 本時の目標 (2 / 2) 本時

インターネットにおける個人情報の書き込みに危険性について知り、気をつけようとする態度をもつことができる。

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援
<p>インターネットでの個人情報の扱いについて学習しましょう。</p>	
<p>(1)導入課題について考える。</p> <p>インターネットで、自分の住所や名前を書き込んだ経験はありませんか。</p> <p>・経験を発表する。</p> <p>(2) 学習モジュールで課題を的確に知る。 パソコンごとに、学習モジュール「個人情報の発信は慎重に」を見せる。</p>	<p>・アンケートの結果を P P T で見せながら。</p> <p>・どんな時に書き込んだのか。また、その後どうなったか。</p> <p>・液晶プロジェクターを用いて学習モジュールを表示の仕方を教える。</p>
<p>問題 1 主人公の行動で何が問題だったのか 問題 2 結末のようなことを防ぐためにどのようなことに気を付ければいいのか。</p>	<p>・内容をワークシートに書き込ませる。</p>
<p>(3)個人で、また、パートナーと話し合った内容を発表する。</p>	<p>・相手はどこのだれなのか、書き込んだ情報がどこに流れるかわからないことを理解する。</p>
<p>(4)インターネットでの書き込み体験をする。</p> <p>インターネットに、実際にプレゼントのホームページに書き込んでみよう。</p> <p>・個々にインターネットを開き、応募してみる。</p>	<p>・偽ものであることを知らせ、書き込んだ情報が他に漏れないことを確認する。</p> <p>http://www.hakodate.gr.jp/sasaki/sonota/present/</p>
<p>問題 3 どんなところが怪しかっただろうか。</p> <p>・怪しいところがどんなところかを発表する。</p>	<p>・このアンケートで何がわかるのか。会社はどこにあるのか。など</p>

<p>(5) 収集されたデータについて学習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">住所や名前その後どうなっているだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・悪徳業者のパソコンで何をしているかを知る。 ・悪徳業者からの児童宛の手紙を配る。 内容は個人情報保護に対する注意点のまとめ <p>(6) 授業でわかったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師により、集められたデータがパソコンで加工され、ラベルとなって出てくることをスクリーンで見せながら、実演する。 (doteconverter excel word の利用)
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>パソコンを利用して書き込まれた個人情報は、いとも簡単に使われやすい形になります。書き込むホームページが本当に大丈夫なのか、よく確かめることが大切です。また、クレジットカードの番号などは、子どもは絶対に書き込んではいけません。</p> </div>	
<p>(7) ワークシートに感想を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">感想 授業でわかったことや感想をまとめよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・何人かに発表させる。

(3)評価

- ・インターネットでの個人情報の書き込みがどんなものであるかがわかる。
- ・インターネットを使った個人情報の書き込みはいとも簡単にデータベース化され、第3者に渡る可能性があることがわかる。
- ・インターネットでの個人情報の書き込みが危険であり、十分に気をつけないとわからないことがわかる。

スキット 1

女:「もしもし、鈴木さんのお宅ですか。」

子:「はい。」

女:「七飯町給食センターの栄養士の橋本と申しますが、辰夫君でしょうか。」

子:「はい。」

女:「実は、今、七飯町の子どもたちに、好きな献立の調査をしています。辰夫君は、今日の給食のプリンは食べましたか。」

子:「え、ええ。」(少し不安そうに)

女:「おいしかったよね。お姉さんも食べたわ。ところで、辰夫君は、毎日牛乳はちゃんど飲んでるかしら。」

子:「え、ええ。時々多くて残す時があります。」(まだ、不安が残る)

女:「そおお、カルシウムいっぱいだから、なるべく残さないで飲んでね。もう少し教えてほしいんだけど。給食ではどんなものが好き？」

子:「そうですねえ。スパゲティーとか、ラーメンとか」

女:「そう、麺類が好きなのね。じゃあ、今度給食の献立を作るとき、考えてみるね。」

子:「はい。ありがとう。」(安心してきた)

女:「辰夫君、いろいろ教えてくれて、ありがとうね。ところで、もう少し、いろんなお友だちの意見を聞きたいんだけど、仲のいい友だちの名前と電話番号を教えてくれる？」

子:「それじゃあ、昭夫君の電話教えてあげる。65-1234」

女:「ありがとう、65-1234ね。昭夫君の苗字は？」

子:「宮下、宮下昭夫君。」

女:「宮下君ね。ありがとう。あと、2人だけでいいから教えてもらえる。」

子:「は、はいー。???(あれーなんだかおかしいぞ)」

スキット 2

男:「もしもし、鈴木さんのお宅ですか。」

子:「はい。」

男:「函館北警察署の交通課の佐藤と申しますが、お父様はいらっしゃいますか。」

子:「仕事で出かけていて、私しかいませんが。」

男:「実は、お母様が、七飯本町で、交通事故に遭いまして、大怪我をされて、今、救急車で、病院に運ばれているところです。」

子:「お母さんは、大丈夫なんですか。」

男:「詳しいことは、わかりませんが、命は取り留めたようですが、かなりの大怪我の模様です。お嬢さんの、名前教えてもらえますか。」

子:(泣きながら)「美香子です。」

男:「美香子さんの住所は？」

子:「七飯町上藤城 123 の 4 です。」

男:「123 の 4 ですね。美香子さんは何年生ですか」

子:「4 年生です。」

男:「わかりました。お父様の名前を教えてください。」

子:「正雄です。」

男:「お母様は？」

子:「光子です。」

男:「お父様の連絡先はわかりますでしょうか。」

子:「携帯が 090-1234-5678 です。」

男:「1234 の 5678 ですね。早速連絡をとってみます。お父様からもう一度お嬢様に連絡するように伝えますので、連絡を待って、一緒に病院へ行ってください。」

子:(泣きながら)「はい。」

男:「それでは、お大事に。失礼します。」

3 . スキット 3

女性:「西川さんのお宅でしょうか。しろ犬宅急便の山口と申します。実は、藤城小学校の 5 年生あての料金着払いの荷物がどっさりありまして、犯罪に関係あるかと心配しているところです。警察に届けようと思っているのですが、ラベルに水がかかって住所が読めない荷物がいくつかありまして、それで友だちの名前と電話番号を調べるのに協力してほしいのですが。」

個人情報ワークシート

name()

・個人情報にはどんなものがありますか。

[]

・あなたが文雄君だったら、どのように答えますか。

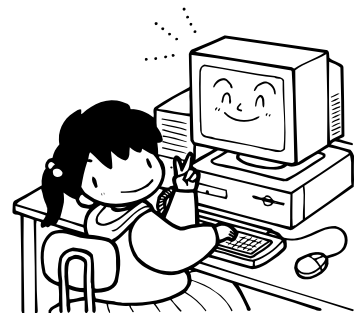
[]

・あつめられた住所や名前などの情報は、どうなるのでしょうか。

[]

今日の授業でわかったこと・感想をまとめよう。

[]



個人情報ワークシート

name()

- ・問題 1 主人公の行動で何が問題だったのか。

[]

- ・問題 2 結末のようなことを防ぐためにはどのようなことに気をつけなければならないのか。

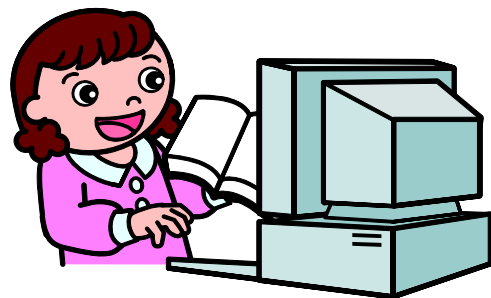
[]

- ・問題 3 どんなところがあやしかったのだろうか。

[]

- ・感想

[]



住所や電話番号を教えるのは慎重に ～ 個人情報保護～

個人情報とは

個人情報とは、個人を特定する情報です。
氏名、住所、性別、生年月日、家族構成、職業、電話番号など
銀行の口座番号や暗証番号なども個人情報です。

怪しい電話や訪問に注意

- ・あやしい電話を受けた場合は、家の人に代わってもらおうとか、親のいる時にかけなおしてもらおう。また、急ぎの時は、相手確かめるなど必要な場合もあります。

個人情報がもれていやな思いをしないように

- ・個人の住所や名前を集めて、手紙を出したり、訪問したりして、商売をしようとする人がいます。また、情報を集める専門の会社もあります。いやな思いをしないよう相手に住所や名前を教える時には十分注意しましょう。

パソコンでの個人情報送信は特に慎重に

- ・パソコンを利用して書き込まれた個人情報は、いとも簡単に使われやすい形になります。書き込むホームページが本当に大丈夫なのか、よく確かめることが大切です。また、クレジットカードの番号などは、皆さんは絶対に書き込んではいけません。

